

## 会長あいさつ

子どもたちが元気で遊んでいる姿を見て、励まされない人はいません。それだけ子どもの姿には、多くのエネルギーがあるのでしょう。町田市の子どもの推移状況については第2章で詳細に記述されています。2020年には日本は65才以上の人々が4人に1人となるのが統計上明らかになっています。このことは高齢化社会の訪れと考えるより、子どもたちが少なくなってきた結果として捉えなくてはなりません。私たちの社会は、明るい元気な子どもたちを見守り、育てていく中にこそ、その意味があると思います。また、子どもを育てやすい環境は、一言では言いあらわすことはできません。しかし、子どもを育てる責任は大人の義務でもあります。

本計画は、このような中で町田市の子育ての方向を示したものであります。この計画の作成にあたっては、多くの関係する方々の貴重な意見とお時間をいただきました。2013年から1年半をかけて様々な考えを集約し、できあがった計画です。これからは計画と実際の齟齬の修正を繰り返していきながら、この計画に息を吹き込んでこそ、今日までの会議の努力も報われるものと信じております。子育てに奮闘している保護者や、子育て支援の現場で活躍されている方々の意見をここに加えてこそ、この計画が本物になっていきます。今後は町田市子どもマスタープランへの着手も始まると聞いています。子ども・子育て会議の本事業計画がアンカーとなって、次のステップへ続くことを、さらには町田市の子育てが一番輝いている、と叫ばれることを願っています。

最後に、多くの貴重な時間を会議に注いで頂きましたメンバーの方々、町田市の関係部署の方々に厚く御礼申し上げます。

2015年（平成27年）3月

町田市子ども・子育て会議会長  
東京家政学院大学現代生活学部教授  
金子 和正